

平成25年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成25年4月1日～平成26年3月31日

施設名	大和スポーツセンター、大野原庭球場、草柳庭球場、桜森スポーツ広場 下福田野球場、下福田スポーツ広場
指定管理者	公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

●施設の管理運営に関する主な業務実施状況

(1) 窓口業務

- ①施設保険の受付：なし
- ②苦情、要望等への対応：苦情・要望 26 件

(2) スケジュール管理業務

- ①スケジュール会議の開催：屋外施設 1/29(水)、屋内施設 1/30(木)
- ②施設予約の抽選： 4/1(月) 5/1(水) 6/1(土) 7/1(月) 8/1(木) 9/1(日)
10/1(火) 11/1(金) 12/1(日) 1/1(水) 2/1(土) 3/1(土)

(3) 経理業務

- ①利用料金の収入・還付実績の作成
- ②収支決算書の作成

(4) 報告、統計業務

- ①建物健康診断報告書：10/30(水)提出
- ②消防設備報告書：3/24(月)提出
- ③月報：前月分の状況を毎月 15 日までに提出

(5) 情報提供業務

- ①ホームページの管理運営：財団情報サイト「やまとナビ」日々更新
- ②情報誌の作成：財団情報誌「とりころーる大和」隔月発行
- ③新聞、雑誌等の提供：新聞 2 紙、雑誌 7 冊

(6) その他の業務（日常業務）

- ①大和スポーツセンター消防訓練：6/13(木) 12/18(水)
- ②大和スポーツセンター清掃の日：5/23(木) 11/21(木)
- ③ドクターヘリの対応：要請なし
- ④救急車の要請：17 件
- ⑤盗難、事故等の対応：盗難 2 件、事故 4 件、盗難品不法投棄 1 件
(警察への通報、再発防止策の実施)

- ⑥補修業務：43 件（施設、器具等の修理など）

(7) 委託業務実施状況

施設名	業務内容	回数等
大和スポーツセンター 体育会館	日常清掃業務	年間
	設備管理業務	年間
	警備業務	年間
	床面定期清掃業務	月1回
	窓ガラス清掃業務	年3回
	衛生害虫駆除	年2回
	貯水槽清掃業務	年1回
	給水ポンプ点検	年1回
	水質検査(10項目)	年1回
	水質検査(15項目)	年1回
	冷温水発生器保守点検	年4回
	AHU	年4回
	FCU	年4回
	フィルター除塵装置清掃	年4回
	送排風機点検	年4回
	空調用ポンプ点検	年4回
	圧力容器点検	年1回
	給湯設備保守点検	年1回
	消防設備保守点検(体育会館・競技場)	年2回
	競技表示システム保守点検業務	年1回
	体育器具保守点検業務(トレーニング機器)	月1回
	体育器具保守点検業務(体育器具)	年1回
	夜間警備業務(体育会館・みなみ風)	年間
	自動ドア保守点検業務	年3回
	トイレ消臭設備等保守点検業務	年6回
	放送設備保守点検業務	年2回
	移動観覧席保守点検業務	年1回
	エレベータ保守点検業務	月1回
	トレーニング室カーペット清掃業務	年1回
	空調自動制御設備保守点検業務	年1回
資源分別回収運搬処分業務	月1回	
みなみ風冷蔵機器保守点検業務	年3回	

大和スポーツセンター 競技場	管理業務	年間
	夜間管理業務	年間
	夜間警備業務	年間
	芝生年間管理業務	年間
	機器保守点検	年 1 回
	樹木剪定業務	年 2 回
大和スポーツセンター プール	管理業務	夏季
	受水槽、プール及びピット清掃業務	年 1 回
	濾過装置保守点検業務	年数回
大野原庭球場	管理業務	年間
	グラウンド整備業務	年 1 回
草柳庭球場	管理業務	年間
	夜間管理業務	年間
桜森スポーツ広場	グラウンド整備業務	年 1 回
下福田野球場	トイレ清掃業務	随時
	グラウンド整備業務	年 1 回
下福田スポーツ広場	芝生年間管理業務	年間
	浄化槽清掃、保守点検	年 6 回

●施設利用状況

年間利用者数（平成 25 年度）

施設名	利用者数
スポーツセンター体育会館	279,114 人
スポーツセンター競技場	109,203 人
スポーツセンタープール	6,726 人
大野原庭球場	37,980 人
草柳庭球場	53,925 人
下福田野球場	11,910 人
桜森スポーツ広場	12,143 人
下福田スポーツ広場	19,801 人
合 計	530,802 人

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・安心して施設をご利用いただけるよう体育館及び競技場へ防犯カメラを設置し、犯罪行為に対する抑止力向上を図りました。
- ・利用者サービス向上の一環として、平成 25 年 2 月から開始したバスケットボール、バレーボール、室内シューズのレンタル業務の中で、特に室内シューズのレンタルが月間平均 80 足と

多くの方に利用いただきました。

- ・トレーニング室において、初心者や高齢者、女性などに今後もトレーニング室を継続して利用していただけるよう、骨盤エクササイズやピラティス、コアエクササイズなどのミニ教室を開催しました。
- ・女子サッカーへの関心が増す中、良好なピッチコンディションを保つために年間を通じて計画的に芝生管理を行うことにより、利用者満足度を高めるよう努めました。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	178,825,000	人件費 (指定管理者が雇用した職員の給料、諸手当、福利厚生等の金額)	54,144,679
利用料 (条例に基づき、利用者が指定管理者に支払った利用料金)	46,386,600	施設管理費 (施設の清掃や保守点検、修繕等に支出した金額)	168,555,609
その他 (出店料、器具使用料、教室・講習会参加料ほか)	8,688,649	事業費 (教室や講習会等の事業に支出した金額)	3,644,255
収入計 (①)	233,900,249	支出計 (②)	226,344,543

収支決算	7,555,706
------	-----------

【収支決算に関する補足説明】

- ・利用料金は、予算額 43,600,000 円に対し、決算額が 46,386,600 円で 2,786,600 円の増収となっており、昨年度よりは減少したものの、利用料金収入は予算額に対し増加できました。
- ・節電計画書に基づき、積極的な節電への取り組みを実施した結果、施設管理費の節減が図られました。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は、次のとおりです。

評価にあたっては、平成 26 年 7 月 31 日にスポーツ推進審議会からの意見聴取を行いました。

<p>評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービス向上が図られたか</p> <p>(平等な利用の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用許可事務については、書類及び実地調査の結果、条例等に則り適切に行われていることが確認できました。 <p>(サービス向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営に関する苦情や要望については、受付表を作成し、内容や対応結果を明確にしています。個々の案件への対応内容も事業報告書から誠実かつ的確に行われていることが確認でき、業務改善を積極的に行うなど、利用者のサービス向上に取り組んでいます。

- ・間接的なサービス向上策として、大和スポーツ・よか・みどり財団の特色を活かし、スポーツセンター敷地内に四季折々の花を植えるとともに緑のカーテンを設置するなど、例年緑化運動に積極的に取り組み、利用者満足度の向上に努めていることは評価できます。
- ・トレーニング室において、初心者や高齢者、女性など、誰もが利用しやすく、継続的に利用してもらう為に、骨盤エクササイズやピラティス、コアエクササイズなどのミニ教室を開催したことはサービス向上に繋がる取り組みとして評価できます。
- ・スポーツセンターの体育館及び競技場へ防犯カメラを設置し、犯罪行為に対する抑止力向上を図ったことは、安心して施設を利用できる取り組みとして評価できます。
- ・利用者サービスの一環として平成25年2月から開始した、バスケットボール、バレーボール、室内シューズのレンタル業務の中で、特に室内シューズのレンタルが月間平均80足と多くの方に利用いただいたことは、利用者のサービス向上に繋がる取り組みとして評価できます。

評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

(事業、イベント、施設PR)

- ・大和スポーツセンターを中心に、ランニング教室等、ニーズを踏まえた事業を展開し、芝生に触れる機会として、芝生の上で自主事業などを行う芝生開放感謝DAYを実施しており、施設の効用を最大限に活かした事業運営が行われました。
- ・大和スポーツセンターにて指定管理者主催のスポーツ体験型イベントの「スポーツしちゃお！」が開催され、施設、事業のPRやスポーツ振興に繋がる事業運営が行われました。
- ・トレーニング室において、講習会を計105回実施するとともに、ミニ教室を実施し、初心者や高齢者、女性などに継続して利用してもらうために積極的な事業運営を図り、利用者が約1,500人増えたことは評価できます。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか

(通常の維持管理)

- ・施設の清掃や保守点検等の通常の維持管理は、書類及び実地調査の結果、仕様書等に沿って適切に行われていることが確認できました。
- ・大和スポーツセンター体育会館竣工後26年が経過し、設備機器の老朽化や雨漏りなどの不具合箇所に対して、徹底した日常・定期点検、延命措置や修繕を迅速に実施し、施設利用に影響がないよう適切に維持管理を図っていたことは評価できます。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他経営の規模及び能力を有しているか

(管理者としての資質)

- ・事業計画書のとおり適正に人員が配置されており、自然災害への対応や節電対策をはじめ、不測の事態にも柔軟に対応し、施設の管理を安定して行う人員・能力等を有していると評価できます。
- ・財団総務課に品質管理担当を配置し、各施設の利用者の声(苦情・意見・要望)を一元的に管理する仕組みの構築、及び内部評価項目に沿ってセルフモニタリングを行うなど、施設を安定して適切に管理できる組織づくり、情報共有化、効率的な業務改善活動に積極的に取り組んでいます。
- ・施設利用アンケートを年2回実施し、利用者の声を吸い上げるとともに、アンケート結果を館内掲示、ホームページに公表し、要望に対する対応等を掲載し、利用者の視点に立った運営が行われています。
- ・施設の管理運営を安定的に行ううえで、十分な財務状況と判断しています。